

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	福井県民生活協同組合	代表者	松宮 幹雄	法人・事業所の特徴	小規模多機能居宅介護だからできる「ご利用者が自宅で生活する為にどのような支援が必要か」を考えた柔軟なサービス提供はもちろんの事、ご利用者の生活の質の向上を図るために、季節にあったイベントを行ったり、希望外出行事を行なっています。また選択制の食事を取り入れ、身体を維持するために、健康状態を維持するための食生活を大切に、食べる楽しさ・食の楽しさを作りにこだわりを持って行っている。交流を含めた他部門との全体行事、地域への外出も実地しています。
事業所名	県民せいきょう 小規模多機能ホーム 鯖江きらめきハウス	管理者	野村 侑希		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0 人	0 人	1 人	0 人	12 人	0 人	0 人	1 人	人	14 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・改善計画を共有しわかりやすい改善案にし取り組む。 ・利用者の想いを聞き「～したい」の実現を行う。 ・「きらめきに行きたい」と思ってもらえるような場所づくりを行う。	・前年度から職員体制も大幅に変わっており初めて行う職員も多数いた為取り組めた項目が少なかった。 ・きらめきの外に出での活動が少なく、中での活動ばかりになってしまったが会話の中から「～したい」を聞き活動に取り入れることができた。外出の要望もあったが体制が厳しく取り組むことができなかった。	・読んだがよくわからない項目も多かった。 ・職員さんが利用者の方の事を考えて動かれていることは分かった。 ・添付された別紙を拝見して、このような目標計画を立てそれに向かって取り組まれておられることを初めて知りました。	・利用者の想いを聞き「～したい」の実現を行ない、「きらめきに行きたい」と思っていただけのような場所づくりを行なう。
B. 事業所のしつらえ・環境	・運営推進会議の際に中の見学も取り入れる。 ・きらめきの外に出て活動する機会を作る。	・運営推進会議の終了後にどのように過ごされているかの見学を行う事ができた。 ・今年度は祭りや家族会を開催しきらめきの中に入っただく機会をつくる事ができた。	・運営推進会議にたくさんの人が来ているのはいいことだと思う。	・利用者の方が自分で出来る環境を整える。 ・運営推進会議の際に参加された方に見学をしていただく機会を持てるようにする。
C. 事業所と地域のかかわり	・引き続き利用者の「～が好き～」「～したい」の気持ちを実現できるように思いに寄り添っていく。 ・利用者の地域資源の情報を集め共有する。	・毎週小学校の見守り隊に参加し、地域住民の形と会話を行う事ができた。 ・祭りでは町内の方も参加してくださった。	・職員の方でだいたいの方は明るい雰囲気であいさつをしてくれるが、一部の方であいさつが帰ってこないことがあった。 ・いつ訪れても気持ちよく挨拶を	・引き続き利用者の「～が好き～」「～したい」の気持ちを実現できるように思いに寄り添っていく。 ・地域行事に利用者の方と一緒に参加する。

			して下さる。 ・何かあればスタッフの方から連絡をいただき助かっている。	
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・会議時に取り組みの報告だけでなく、どのようなことに興味があるのかお聞きし報告できるようにする。 ・管理者やリーダーだけが参加するのではなくいろんな職員が参加できるようにする。	・今年度はハーツさばえで介護相談会を行い、地域で困っている方など気軽に相談に来てもらえるような場所を作った。 ・外に出での活動が少なかったため来年度はもっと増やし行きたい。	・来年度はもっと外出活動をして欲しい。	・ご利用者本人の想いを引き出し、ご利用者からの声をもとに臨機応変に活動や外出の機会を作っていく。 ・地域の方の困りごとをハーツでの介護相談会で聞ける仕組み作りを行なう。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・会議時に取り組みの報告だけでなく、どのようなことに興味があるのかお聞きし報告できるようにする。 ・管理者やリーダーだけが参加するのではなくいろんな職員が参加できるようにする。	・運営推進会議には多数のご家族・ご利用者が参加してくださりその都度質問を受け付けお答えすることができた。 ・職員の参加は難しくリーダーのみの参加になってしまった。	・運営推進会議に参加したことがないので分からない。	・運営推進会議の内容を家族の方の興味がある内容に変更し、今まで来たことのない家族の方にも来ていただけるようにする。
F. 事業所の防災・災害対策	・事業所の防災、災害対策について、地域の方と情報を共有し、地域の防災訓練にも参加する。 ・地域の訓練に利用者と参加する。	・事業所単体での防火、防災訓練は行った。 ・日中の想定だけではなく夜間職員が一人になった時の避難訓練なども行った。	・今回の取り組みを読んで初めて年2回行われている事を知った。 ・地域柄津波や土砂災害はありませんが、台風の時など本当に頼りにしています。	・いろんな災害に備えて隣のきらめきの里への避難訓練も行なっていく。

